



年長組だより



「明日もまた続きしよう！」

最近の子どもたちは、ゼリー屋さんやお寿司屋さんなどのお店屋さんをしたり、ビー玉転がしやお化け屋敷など好きなことをしたりして遊んでいます。また、遊戯室にみんなで中型積み木やマルチパネをたくさん運び、使い始めました。それぞれの遊びの中で“こんなことしたいな”“こんなのもあるといいかも”という思いをもって遊ぶようになってきて、その思いを教師にたくさん伝えてくれるようになりました。子どもたちの思いが形になるうれしさを味わえるように、「それってこういうこと?」「これを使って作ってみる?」などと教師がアイデアを出すと、「そうそう、それぞれ!」「こんな感じ」と、笑顔でまた遊び始めます。そんな表情を見ると、“自分のイメージに合った物や遊びができるうれしさを感じているんだなあ”とこちらもうれしくなります。遊んだ後は、「明日もまた続きしよう!」「先生、作ったの取っておいてもいい?」と“もっと続きがしたい”“明日もこれで遊びたい”と気持ちを表す姿があります。そんな“楽しかった”“もっとしたいな”“明日はこんな風にしようよ”と感じられる遊びをたくさんしていきたいと思っています。



しゅっぱつしんこう!

プリンもありますよ



「ぼくのひざまで水になったよ！」

砂場で大きなスコップを使って、道や落とし穴を作ることが大好きな子どもたち。暑くなってきて「ここは大きなプールにしよう」「川を作ろう」と水を使って遊ぶことが増えました。はだしになってその中に入ると、「冷たくて気持ちいい」「わあ、とろとろだ!」と水の冷たさや泥の感触を楽しんでいます。また、教師や友達と一緒に穴を深く掘ると「ぼくのひざまで水になったよ!」「先生が入っちゃうくらいにしよ!」と喜んで掘り進めていました。

また、好きな遊びの時間に、園庭や中道公園で年中のときから楽しんでいた鬼ごっこをしている子どもたち。より走ることを思い切り楽しめるように、直線リレーを試みることにしました。白チームと色チームに分かれて、教師の「よーいど」の合図で、教師が引いた線からコーンを回りまた線まで走ります。「今度はAくんとだ! 負けないぞ」「頑張れ、頑張れ」と、一緒に走る子に抜かされないように走ったり、応援したりして楽しんでいます。

引き続き、砂や泥、水の感触を楽しんだり、思いきり体を動かしたりしてダイナミックに遊ぶことを楽しみたいと思います。

